

匠の技術にふれたくて
知っているようで知らない
ものづくりの現場を訪ねました。

大人の社会見学

美味しいと健康を食卓に… 但馬発の発酵食品

商品開発のヒントは足元にある
あくなき探究心と行動力で食を創造
但馬ブランド商品を全国に発信



美味しさの追求はもちろんのこと、毎日の食生活で使用される商品を製造しているだけに、「健康にもよい」商品づくりが企業理念。料理研究家とコラボして、簡単に作れる料理レシピも提案している。



但馬ブランド商品がずらりと並ぶ本社直売店。



地元住民との協同により生まれたお酢飲料「梅ごち(中央)」は、モンドセレクションで4年連続金賞を受賞。「城崎ピネガー(右)」は、お酢と果汁を組み合わせ、ジュース感覚でお酢が楽しめる。

DATA

■株式会社トキワ 香美町香住区三谷735
※本社直売店、ネット通販などで購入可能
直売店:8時30分~17時 TEL.0796-36-4001
http://www.a-aji.jp/
◎平成20年度「但馬産業大賞」受賞

香美町香住区の株式会社トキワは、但馬の特産品を活かした調味料やワインなどを開発する発酵食品製造会社。平成20年度には但馬ブランド商品を全国に発信していることが評価され、「但馬産業大賞」を受賞した。工場を案内されてまず驚かされたのが、実に整理整頓が行き届いていること。「清潔でなければ、美味しいものは作れない」という信念の下、毎日朝礼前には社員全員で清掃をする。その原料も安全なものを厳選し、限りに活かす商品作りを行っている。

大正元年(1912)創業の同社は、100周年を迎えた老舗企業。元は醤油、食酢のみを醸造していたが、3代目の柴崎一秀社長が跡を継いだ時、方向転換を迫られることになった。昭和40年代、日本も大量生産・大量消費に突入し、スーパーマーケットに代表されるアメリカの流通・小売システムが導入され、地方メーカーは、存続自体が問われるようになった。そんな時、社長が出会ったのが、「ワイン町長奮戦記」という1冊の本だ。北海道・池田町役場の素人集団が地元のブドウを活かしてワイン作り

に奔走し、町を活性化させるという内容。居ても立つてもいられなくなつた社長は、自ら現地へと赴いた。「印象に残った言葉が、ヒントは足元にあるということ。この出会いによつて、自分の住む但馬を改めてじつへ。トキワの但馬発酵食品は、まさに多様で、素晴らしい素材がたくさん眠っています。今後も地域のひと協力して、地元ならではの商品を開発していきたい」と話す、柴崎社長。「オンリーワン」から「ナンバーワン」へ。トキワの但馬発酵食品は、まさに多様で、素晴らしい素材がたくさん眠っています。今後も地域のひと協力して、地元ならではの商品を開発していきたい」と話す、柴崎社長。

鎌倉から明治まで、武家社会を見届けた唯一の源家『山名氏』

全国山名氏一族会

活動拡充につき『新規会員募集中』

「夢但馬2014」 参画

- ◎ 今に至る『山名氏八百年の歩み』を共に学び、顕彰致しましょう。
- ◎ 入会資格:山名各家御末裔・家臣団御末裔・山名氏にご興味の方。
- ◎ 平成25年10月、出石・竹田にて総会開催予定。
- ◎ 入会金:5000円、年会費:5000円。
- ◎ お気軽にお問合せ下さい。

山名氏史料館「山名蔵」
〒667 美方郡香美町村岡区村岡2365法雲寺内
-1311 電話:0796-98-1151 FAX:0796-98-1161
メール:houunji@gaia.eonet.ne.jp
山名会Web http://yamanaizoku.org

モンドセレクション連続金賞受賞シリーズ

甘酸っぱい梅の実のジャム、ヨーグルトや紅茶などに。

梅の実コンフィチュール

「梅ごち」のストリートタイプで、携帯に便利な紙パック式。スポーツの後などに。

梅ごちストリート

和歌山の南高梅をお酢とハチミツにしっとり漬けて飲んで仕上げた甘酸っぱい飲料。

飲むお酢「梅ごち」

株式会社トキワ

〒669-6553 兵庫県美方郡香美町香住区三谷735
TEL.0796-36-4001 FAX.0796-36-2694 http://www.a-aji.jp/



知っているようで知らない、あなたの町のミュージアム。お散歩がてら、ぷらっと寄ってみませんか？

2F展示室A



近くで見るとカラフルな線画をランダムにかけると、どこか見覚えのある全体を見ても肌の一部になってる！

Vol.1 伊藤清永美術館

11とうきよながびじゅつかん



画家・住職・教員
3つの顔を持っておられていたんです
1945年、終戦後は兄の義典さんに代わり、実家の吉祥寺の住職代理をつとめながら、早立出石高等女学校（現出石高等学校）の図画教員をされていた。伊藤さん、優しい先生でした。

清永の出世作

「風神」(1911)真跡
戦時中、自らの詩が空襲の際、額からはずし、巻いた状態にして防空壕に入れられていたため、筆火を避けることができたそう。

生家・吉祥寺の本堂天井には「飛天」「風神雷神」が奉納されています。



伊藤清永
Kiyonaga Itoh
1911 ~ 2001

1911年、豊岡市出石町下谷の由緒ある禅寺に生まれる。寺を継ぐことよりも絵画の道を選び、画家を志す。父親の反対を受けながらも、東京美術学校に入学。卒業の翌年には、文部省美術展で「磯人」が選奨(特選)を受賞し一躍有名に。白日会会員となり、画家としての道を確立する。1996年には文化勲章を受章するなど数々の栄誉に輝いた。



まるで西洋絵画に登場しそうな風神雷神



約7年の歳月をかけて制作した「釈尊伝四部作」(複製/パネル)も必見! 一般的な仏教画とは違い、生き生きとした体的な表現が描かれています。

伊藤清永美術館の楽しみ方

ガラッと変わった画風に注目!

戦争などの理由から、留学をあきらめていた清永は、51歳にして念願の渡欧を果たします。本場の洋画を学び、今までとは違う柔らかで量感のある線画の表現に成功します。

清永が渡欧したのは1962年! その前後の絵柄に注目してみよう!

清永ならではの色彩豊かで繊細な線描画には葛藤の歴史があった!

帰国後は気候、風土による違いから渡欧時に描いた絵のような表現ができず、日本画に転向しようかと悩んでいたほど。



筆がきにくい → 筆がきやすい!

試行錯誤の末、繊細な筆がけで油絵の具の乾きを早めることにより豊かな表現を取り戻し、清永ならではの彩色のよい絵画を確立したのです。

伊藤清永美術館

[所] 豊岡市出石町内町98
[時] 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで) [休] 水曜(祝祭日の場合翌日)、年末年始
[料] 大人500円、高校・大学生300円、小中学生無料、65歳以上250円(特別展は別途料金が必要)
TEL.0796-52-5456

画家とパレット展 ピカソが豊岡にやってきました!(仮称)

7月13日(土) ~ 8月27日(火)
美術館開館25周年を迎え、世界の巨匠「パブロ・ピカソ」などの絵画と制作の際に使用したパレットを併せて展示!

女性の実美の美を追求したという清永。美しく艶やかな彼女たちに行ってみてはいかが?

豊岡市出石町の「伊藤清永美術館」は出石城跡の目の前に佇む美術館。出石町出身の伊藤清永は、女性美を追求した作品を数多く描き、昭和期を代表する洋画家として有名だ。館内には伊藤清永の貴重な少年時代のスケッチや晩年の作品に至るまで、数多くの絵画やスケッチなどが展示されている。

ARを取り込んで
動画の見れる名刺を作ませんか?



- 〈AR操作方法〉
- スマートフォンやiPadで左のQRコードからJunaioアプリをダウンロードしてください。(無料)
 - ダウンロード後Junaioを立ち上げ、画面右上のscanをタッチし、もう1度左のQRコードを読み込んでください。(ピロピロと音がすればスキャン完了)
 - そのまま右のワンちゃんにスマホをかざしてください。動画が映し出されます。(少し時間がかかるかも…チャットがまんして待ってね)
 - 表れたものにタッチすると、コメントが出てきて岩見印刷のホームページもご覧いただけます。

ここに
かざしてね

岩見 きなこ

〒669-5321
兵庫県豊岡市日高町土居67-1
TEL 0796-42-1200

●お問合せは 岩見印刷株式会社 TEL 0796-42-1200
〒669-5321 兵庫県豊岡市日高町土居67-1